

事業名：農業振興資金貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に住所を有し、かつ、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づく農用地区域内に経営地を有する農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
融資機関（農協）が農業者に貸付ける振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。 ◎1～5号資金 市が農協に融資額の1/2を預託 ◎6号資金 市が農協に融資額の2/3を預託									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設・機械等の導入実現のため、国・道の制度資金を補完する融資事業であり、低利で利用しやすい貸付資金の提供により、施設・機械等を導入しやすくし、農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業所得の向上、農業生産の基盤強化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	総農家数	世帯	398	398	398	398
対象指標2						
活動指標1	新規貸付件数	件	0	0	19	5
活動指標2	新規貸付金額	千円	0	0	18,500	5,000
成果指標1	施設・機械等の導入数	件	0	0	19	5
成果指標2						
事業費(A)		千円	28,034	18,035	28,056	8,191
正職員人件費(B)		千円	1,941	1,918	1,926	1,931
総事業費(A+B)		千円	29,975	19,953	29,982	10,122

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠11件、新規枠5件）8,191千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：合併処理浄化槽設置貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の下水道が整備されていない地域の居住者。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）としての原資の一部として融資機関に無利子で預託を行うことにより農業者への貸付利率の低減を図る。 ※生活環境部環境室では、合併処理浄化槽の助成金制度があり、設置に係る費用の一部（基準助成額）の概ね4割を国費、道費、市費で助成しており、設置費用残額（上限あり）を農業振興課で貸付するものである。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	総農家数	世帯	398	398	398	398
対象指標 2	下水道認可区域外の世帯	世帯	1,376	1,522	1,523	1,571
活動指標 1	新規貸付件数	基	0	0	2	2
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	1,450	1,450
成果指標 1	設置基数	基	0	0	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	900	540	1,630	1,450
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	1,288	924	2,015	1,836

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用） 融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の 原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行 うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠1件、新規枠2件）1,450千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：鳥獣被害防止対策事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農業被害等をもたらす鳥獣									
手段（事務事業の内容、やり方）									
鳥獣被害対策実施隊を設置するなど、関係機関との連携により対策を講じる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
鳥獣による農業被害を減少させる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	対象鳥獣	種類	4	4	4	4
対象指標 2						
活動指標 1	鳥獣被害対策実施隊出動数	回	22	26	114	127
活動指標 2	鳥獣被害対策実施隊派遣数	人(のべ)	270	253	380	452
成果指標 1	鳥獣捕獲数	頭・羽	105	77	110	101
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	90	90
正職員人件費 (B)		千円	2,717	2,685	2,696	2,703
総事業費 (A+B)		千円	2,717	2,685	2,786	2,793

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・鳥獣被害防止に係る捕獲活動等	・捕獲活動等経費 90千円 このほか、江別市鳥獣被害防止対策協議会へ直接交付される国費を活用

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
		向上		
		維持		
		低下		

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内農業者及び市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標 2	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	2,079	1,889	867	2,129
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	640	690	750	750
成果指標 1	特産品の認知個数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,090	2,579	1,617	2,879
正職員人件費 (B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	6,972	6,414	5,469	6,740

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 小麦生産団体への補助 和牛生産団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 2,129千円 黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：「食」と「農」の豊かさ発見実践事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学生及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者等を講師に小中学生を対象とした農業体験及び加工体験を実施する。 ・食育を推進するための協議会を開催する。 ・農業者団体が実施する消費者との交流活動の事業費を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「食」についての共通認識のもと、次代を担う小学生や消費者に、「食ること」の大切さと「地域農業」に対する理解を深めてもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
活動指標 1	農業体験学習等延べ実施回数	回	40	44	36	52
活動指標 2	食育推進協議会議実施回数	回	1	1	1	1
成果指標 1	農業体験学習等延べ参加者数	人	1,993	2,596	2,244	3,116
成果指標 2	参加者の「食」及び「農業」に対する関心度	%	92.3	95.3	100	100
事業費 (A)		千円	1,633	1,931	3,566	4,410
正職員人件費 (B)		千円	8,152	8,054	7,318	7,336
総事業費 (A+B)		千円	9,785	9,985	10,884	11,746

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生食育事業（農業体験学習等・一部の体験メニューを委託） ・中学生食育事業（生産者等を招いた授業・レシピコンテスト） ・学校給食への地場産牛乳の提供 ・農業者団体が実施する農業体験への補助 ・食育推進計画の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生食育事業費 3,688千円 ・中学生食育事業費 165千円 ・地場産農産物導入支援 144千円 ・農業体験への補助 100千円 ・計画検討委員会費用 313千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化		
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果							
対象（誰、何に対して事業を行うのか）							
市内農業者及び市民							
手段（事務事業の内容、やり方）							
「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。							
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。							

指標・事業費の推移							
		区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内農業者		人	924	924	924	924
対象指標2	市民		人	119,587	119,250	119,250	118,979
活動指標1	イベント開催回数		回	16	14	20	20
活動指標2	各部会等開催回数		回	20	11	10	10
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数		人	528,866	526,212	529,000	529,000
成果指標2	イベント参加者の満足度		%	90	100	80	80
事業費 (A)			千円	992	1,647	1,800	1,600
正職員人件費 (B)			千円	5,047	5,369	5,392	5,405
総事業費 (A+B)			千円	6,039	7,016	7,192	7,005

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：直売所スタンプラリー開催、直売所マップ作成、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会開催、収穫体験バスツアー開催、加工品フェア開催など） 6次産業化支援のための農業者等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助 900千円 農畜産物加工新商品開発等支援補助 700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：酪農経営安定技術高度化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内酪農家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・「乳質改善促進事業実施要領」に基づき、乳質検査に係る経費の一部に対して補助を行う。（定額150千円） ・「産学官連携畜産技術高度化促進支援事業実施要綱」に基づき、江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内） ・「酪農ヘルパー支援事業実施要綱」に基づき、酪農ヘルパー人件費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生産性の向上と就業環境の整備が図られ、持続可能で安定した酪農経営ができる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	酪農家戸数	戸	43	40	43	40
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,185	1,198	1,200	1,200
活動指標 2	検査牛延べ頭数	頭	15,115	15,188	16,560	16,560
成果指標 1	酪農家 1戸当たり乳量	t	522.8	557.3	522.8	557.3
成果指標 2	酪農ヘルパー利用延べ回数	回	559	475	559	475
事業費 (A)		千円	1,185	1,198	1,200	1,200
正職員人件費 (B)		千円	5,435	5,369	5,392	5,405
総事業費 (A+B)		千円	6,620	6,567	6,592	6,605

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳質検査に係る経費の一部に対して補助を行う。 ・江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して補助を行う。 ・酪農ヘルパー人件費の一部に対して補助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳質サンプル検査に係る経費への補助 150千円 ・江別市ホルスタインショウに係る経費への補助 350千円 ・酪農ヘルパー人件費への補助 700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：次世代就農定着サポート事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
就農予定者及び若手農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
農業次世代人材投資資金（経営開始型）を支給し、就農直後の経営確立を支援する ・江別市農業次世代人材投資事業（経営開始型）交付要領									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
45歳未満農業者の増加									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	45歳未満農業者数	人	188	188	188	188
対象指標 2						
活動指標 1	農業次世代人材投資資金支給件数	件	5	6	9	10
活動指標 2	45歳未満の新規就農相談件数	件	4	5	4	4
成果指標 1	45歳未満農業者の割合	%	20.3	20.3	20.3	20.3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,500	9,000	13,500	15,000
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	3,081	3,089
総事業費 (A+B)		千円	6,829	11,301	16,581	18,089

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	国の実施要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）支給	農業次世代人材投資資金（経営開始型） 15,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：農村環境改善センター維持管理費 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	農村環境改善センター
手段（事務事業の内容、やり方）	農村環境改善センターの維持・管理に要する経費
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	農村環境改善センターが適切に運営管理される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	維持・管理経費	千円	15,436	14,295	4,138	3,136
活動指標 2	開設日数	日	331	330	329	329
成果指標 1	利用者数	人	14,930	14,792	2,700	2,700
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	15,436	14,295	4,138	3,136
正職員人件費 (B)		千円	1,164	767	1,155	1,158
総事業費 (A+B)		千円	16,600	15,062	5,293	4,294

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	農村環境改善センターの管理運営、維持修繕	<ul style="list-style-type: none"> 改善センター職員給与 800千円 電気料、水道料、ガス代 804千円 消防設備保守、浄化槽管理料等 548千円 施設の緊急時の修繕費 158千円 樹木点検伐採、浄化槽ブロワーモーター交換工事 621千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
花き・野菜栽培技術指導センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の運営管理を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理運営を適切に行い、花き・野菜の生産振興の拠点機能を発揮させる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	9,925	9,956	9,970	9,479
活動指標 2						
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	9,925	9,956	9,970	9,479
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	12,254	12,257	12,281	11,796

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・施設の運営管理を指定管理者に委託する。	・指定管理料 9,479千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：家畜排せつ物処理施設設置貸付事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内畜産農家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市家畜排せつ物処理施設設置資金貸付要領に基づき、江別市家畜排せつ物処理施設設置資金（江別市農業振興資金特認資金）を設置し、融資機関（農協）が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減（無利子貸付）を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
畜産農家の資金不足による家畜排せつ物処理施設の未整備を解消し、家畜排せつ物法に基づく適正な管理及び利用をすすめ、地域の環境保全、循環型農業の確立を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	畜産農家戸数	戸	69	64	69	64
対象指標 2	家畜排せつ物法適用農家戸数（一定規模以上の農家）	戸	60	51	60	51
活動指標 1	新規貸付件数	件	0	0	0	0
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	0
成果指標 1	家畜排せつ物処理施設整備農家戸数	戸	60	51	60	51
成果指標 2	家畜排せつ物処理施設整備率	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	1,100	880	660	440
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	1,488	1,264	1,045	826

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市家畜排せつ物処理施設設置資金を設置し、融資機関が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	・無利子預託金 440千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性(成果)	向上	減少	維持	増加
			維持	○		
			低下			

事業名：排水路維持管理経費

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	平成33年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農業用排水路									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市土地基盤整備事業規則に基づき床浚いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
農業用排水路の排水能力を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	排水路の数	条	59	59	59	59
対象指標2	排水路延長	m	68,730	68,730	68,730	68,730
活動指標1	補助金額	千円	2,574	1,657	1,838	3,522
活動指標2						
成果指標1	排水路床浚い延長	m	2,450	1,480	870	1,315
成果指標2						
事業費(A)		千円	2,646	1,787	1,983	3,667
正職員人件費(B)		千円	1,165	1,534	1,541	2,317
総事業費(A+B)		千円	3,811	3,321	3,524	5,984

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路敷地内不法投棄処理 第9次江別市排水路改修5か年計画に基づき補助金を支出 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄ゴミ処理費 145千円 農事組合への補助金 3,522千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別麦の会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別麦の会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別麦の会を円滑に運営する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生産、加工、流通、消費、研究などに関わる各分野の交流を深めることで、麦の生産振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	会員数	人	45	45	45	45
対象指標 2						
活動指標 1	視察等対応件数	件	7	4	8	8
活動指標 2	会合回数	回	1	1	1	1
成果指標 1	事業数	回	2	0	1	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催 ・「江別麦の会」に関する取材対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の米で酒を造ろう会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
酒米生産者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別産米を原料とした地酒を委託方式により醸造するため、生産・流通・販売に関する企画立案を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市内で生産された米を使用して、地酒「瑞穂のしずく」を造り、地酒のPRをするとともに、江別産米の消費を拡大する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	酒造好適米「慧星」作付農家戸数	戸	4	4	4	4
対象指標 2	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
活動指標 1	会合回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	「瑞穂のしずく」販売量	リットル	8,081	9,214	10,000	10,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新酒発表会の開催 ・総会の開催 ・「瑞穂のしずく」に関する取材対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター改修事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	花き・野菜栽培技術指導センター
手段（事務事業の内容、やり方）	施設設備の老朽化に対応するため、改修を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設本来の機能（育苗）を持続・発揮させて、生産者へ高品質苗の安定供給を行う。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	改修費	千円	14,561	265	3,000	0
活動指標 2						
成果指標 1	改修箇所数	箇所	4	1	2	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	14,561	265	3,000	0
正職員人件費 (B)		千円	776	384	385	0
総事業費 (A+B)		千円	15,337	649	3,385	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・施設設備の改修	・平成30年度は改修工事なし

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：日本型直接支払交付金

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農地・農業施設の保全等のために活動する組織									
手段（事務事業の内容、やり方）									
活動組織に対して、市が多面的機能支払交付金を支払う。多面的機能支払交付金は、平成27年度から国費分を含め道費として市に交付されているが、市の負担分は25%である。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域の共同活動を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持、発揮される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	活動組織数	団体	9	9	9	9
対象指標2						
活動指標1	交付金	千円	188,984	189,006	189,006	190,290
活動指標2						
成果指標1	協定農用地面積	ha	5,770	5,772	5,772	5,915
成果指標2						
事業費(A)		千円	188,984	189,006	189,134	190,443
正職員人件費(B)		千円	3,882	5,753	5,777	6,564
総事業費(A+B)		千円	192,866	194,759	194,911	197,007

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して交付金を支出	・多面的機能支払交付金 190,290千円 ・保全情報記録システム使用料・回線費 122千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 6次産業化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されたテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内農業者	人	0	924	924	924
対象指標2	市民	人	0	119,250	119,250	118,979
活動指標1	協力隊員数	人	0	1	1	1
活動指標2						
成果指標1	テストキッチン利用者数	人	0	0	1,100	1,100
成果指標2	交流センター利用者数	人	0	0	16,100	16,100
事業費(A)		千円	0	2,371	2,929	2,529
正職員人件費(B)		千円	0	767	770	772
総事業費(A+B)		千円	0	3,138	3,699	3,301

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬 2,280千円 ・活動用車両維持費 201千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村の交流センター管理運営事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
都市と農村の交流センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理運営を適切に行い、施設の効用を発揮させる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	0	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	0	0	21,600	22,216
活動指標 2						
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	21,800	22,216
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	0	0	24,111	24,533

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	施設等修繕費 400千円 指定管理料 21,816千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大学、研究機関、企業など経済ネットワークの会員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
例会などを通して参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	人	193	199	190	200
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	7	4	6	4
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数	人	306	168	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	204	368	223	111
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,068	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	3,310	3,436	4,075	3,972

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 江別経済ネットワーク例会の開催 セラミックス交流会の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 江別経済ネットワーク講師謝礼 56千円 江別経済ネットワーク例会会場費 35千円 セラミックス交流会活動経費 20千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市において立地等（新規立地・増設・設備更新）を検討している企業	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金が交付されることを掲示 対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター 種類：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額 ②雇用補助金…新規雇用者に対して市内居住者20万円（障がい者は20万円加算）、市外居住者10万円 ③下水道使用料補助金…各月当たり500㎡を超える部分の年間使用料の1/2 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内へ企業が立地する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	補助金交付企業数	社	2	5	8	9
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	28,795	55,846	88,572	83,814
活動指標2						
成果指標1	補助金認定件数（累計）	件	24	27	30	32
成果指標2						
事業費(A)		千円	28,795	55,846	88,572	83,814
正職員人件費(B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費(A+B)		千円	32,677	59,681	92,424	87,675

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	立地等した企業への補助金 83,814千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 ・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道内外企業・事業所を江別市へ誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	企業・事業所数	社	397,735	427,227	397,735	427,227
対象指標2						
活動指標1	企業との接触数（訪問、来訪、イベント等）	社	126	186	100	100
活動指標2	誘致関係機関との接触数（官公庁、団体）	社	0	37	10	10
成果指標1	立地企業・事業所数（土地・建物の賃借による操業を含む）	社	1	2	4	4
成果指標2						
事業費（A）		千円	1,740	1,479	1,516	1,982
正職員人件費（B）		千円	15,528	15,340	15,406	15,444
総事業費（A+B）		千円	17,268	16,819	16,922	17,426

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に係る情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問等 ・首都圏等で開催する企業誘致イベントへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 540千円 ・企業誘致パンフレット増刷 432千円 ・企業訪問、イベント出展に係る旅費 912千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：起業化促進支援事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内で事業を行おうとしている人又は既に行っている人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業診断士による事業計画等に対する助言 ・ 起業に必要な知識を身につけられるセミナーの開催 ・ 入居企業が応分で支払う共用部賃料を市が負担することで、入居企業の賃料を軽減 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
場所やノウハウの提供、相談業務によって起業や新たな事業展開が増える。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2	市内事業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
活動指標 1	起業に関する相談件数	件	9	23	30	30
活動指標 2	アンビシャスプラザ新規入居件数	件	1	0	2	2
成果指標 1	新規起業数	社	3	3	3	3
成果指標 2	アンビシャスプラザ入居区画数	区画	6	6	8	8
事業費 (A)		千円	2,366	3,138	3,276	3,170
正職員人件費 (B)		千円	7,764	8,437	7,703	7,722
総事業費 (A+B)		千円	10,130	11,575	10,979	10,892

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業診断士（起業化促進支援相談員）による事業計画等に対する助言 ・ 元町アンビシャスプラザ共用部の賃貸 ・ 起業化促進支援セミナー、実践創業塾の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談員報酬 174千円 ・ アンビシャスプラザ共用部賃貸料 2,198千円 ・ 実践創業塾等開催経費 732千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、イベント、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
対象指標 2	商店街組合数	件	8	7	8	7
活動指標 1	補助金額	千円	2,971	4,469	4,660	3,930
活動指標 2						
成果指標 1	補助金の活用件数（ハード事業）	件	4	1	4	1
成果指標 2	補助金の活用件数（ソフト事業）	件	17	14	17	14
事業費 (A)		千円	2,971	4,469	4,660	3,930
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,068	3,081	3,089
総事業費 (A+B)		千円	6,077	7,537	7,741	7,019

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。 ・商店街の建築協定に基づき、れんが・れんがタイル等を店舗外観に使用し、景観向上による商店街の活性化に対し補助する。	・商工業活性化事業補助金 3,600千円 ・商店街建築協定推進事業補助金 330千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：江別商工会議所補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
商工会議所（中小企業相談所）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。 ・「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別商工会議所補助金交付要領」に基づき、江別商工会議所に対し、中小企業相談所運営費の1/2（限度額8,500千円）、関係団体運営費の1/2（限度額75千円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公平な機関として、中小企業者の成長発展を促進するための経営相談等のサービスを提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	商工会議所	所	1	1	1	1
対象指標 2	商工会議所会員数	所	862	856	862	856
活動指標 1	補助金額	千円	8,575	8,575	8,575	8,575
活動指標 2						
成果指標 1	経営指導件数	件	1,055	897	1,055	897
成果指標 2	相談件数	件	2,210	2,411	2,210	2,411
事業費 (A)		千円	8,575	8,575	8,575	8,575
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	10,904	10,876	10,886	10,892

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別商工会議所が実施する経営相談、各種相談業務について補助する。	・補助金 8,575千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市商店街振興組合連合会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	連合会加入組合等の数	組合	8	7	8	7
対象指標 2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	96	83	96	83
活動指標 1	補助金額	千円	800	800	800	800
活動指標 2						
成果指標 1	会員への事務処理等指導件数	件	8	7	8	7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	800	800	800	800
正職員人件費 (B)		千円	776	384	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,576	1,184	1,570	1,572

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： シルバー人材センター事業補助金 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
高齢者の就業を支援する団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「公益社団法人江別市シルバー人材センター補助金交付要領」に基づきシルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費（人件費・事務運営費等）を補助する。補助額は国の補助基準に基づき決定する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者の経験と技術を生かした就業の場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	16,750	23,381	23,541	23,739
活動指標 2						
成果指標 1	（社）江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	221,863	217,421	230,000	217,421
成果指標 2	（社）江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	46,876	46,482	48,000	46,482
事業費 (A)		千円	16,750	23,381	23,541	23,739
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	17,526	24,148	24,311	24,511

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	シルバー人材センターへの補助	補助金 23,739千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：勤労者研修センター管理運営事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
勤労者研修センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
勤労者の研修等を実施するため、施設の維持管理・運営を適切に行う。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	9,283	9,213	9,169	9,132
活動指標 2	開館日数	日	294	291	292	296
成果指標 1	利用者数	人	13,549	13,354	13,549	13,354
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	9,283	9,213	9,169	9,132
正職員人件費 (B)		千円	1,165	1,151	1,541	1,158
総事業費 (A+B)		千円	10,448	10,364	10,710	10,290

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市勤労者研修センター管理運営費として、指定管理者へ管理代行させる。	指定管理料 9,132千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：勤労者生活資金貸付事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内在住及び市内事業所に勤務する従業員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
低利子の融資により、市内勤労者の生活安定に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内事業所従業員数	人	33,694	33,694	31,342	31,342
対象指標 2						
活動指標 1	勤労者生活資金貸付制度預託額	千円	3,500	3,500	3,500	3,500
活動指標 2						
成果指標 1	新規生活資金利用者数	件	0	0	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,500	3,500	3,500	3,500
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	3,888	3,884	3,885	3,886

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。	貸付金 3,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：勤労者福祉共済制度助成事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市勤労者共済会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市勤労者共済会の管理運営費の一部として、江別市勤労者福祉共済制度助成事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内の中小企業等の従事者の福祉向上に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	勤労者共済会加入者数	人	859	888	859	888
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,952	2,123	2,124	2,124
活動指標 2						
成果指標 1	各種共済給付金給付額	千円	3,700	4,120	3,700	4,120
成果指標 2	各種福利厚生事業費	千円	2,352	1,690	2,352	1,690
	事業費 (A)	千円	1,952	2,123	2,124	2,124
	正職員人件費 (B)	千円	388	384	770	386
	総事業費 (A+B)	千円	2,340	2,507	2,894	2,510

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市勤労者共済会に対し、運営費の一部を補助する。	補助金 2,124千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
			維持		○	
			低下			

事業名：労働振興補助金

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
単位組合の数が10組合以上で構成され、労働者の地位向上を図る団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市労働振興補助金交付要領に基づき、労働相談及び労働団体の推進など労働者の地位向上に関する事業などに対して、補助を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内労働団体の労働条件を向上させるため、労働者の保護や意識啓発に関する事業を実施する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	連合北海道江別地区連合組合数	団体	21	21	21	20
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	737	266	185	143
活動指標2						
成果指標1	事業参加者数	人	619	464	619	464
成果指標2						
事業費 (A)		千円	737	266	185	143
正職員人件費 (B)		千円	388	384	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,125	650	955	915

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	労働者の地位向上や労働相談、体育活動等に係る事業費の一部を補助する	補助金 143千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上		
見直し			維持	○	
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別の顔づくり事業（商業等活性化事業）

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌駅周辺地域 「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。 ・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10（事業費30万円以上のもの）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	h a	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	343	264	350	350
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	8	7	9	8
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	0	542	0	1,500
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	37,400	44,800	37,400	51,000
事業費 (A)		千円	345	264	350	350
正職員人件費 (B)		千円	19,410	1,918	1,926	1,931
総事業費 (A+B)		千円	19,755	2,182	2,276	2,281

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	江別の顔づくり支援促進事業補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：旧岡田倉庫活用事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
旧岡田倉庫活用民間運営協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
アトスペース外輪船を芸術文化活動等の拠点として運営する協議会に対して「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付し、芸術文化事業の推進を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民が芸術文化活動等の発表の場や自由に交流する空間としてアトスペース外輪船を活用することにより、江別の歴史や文化的な価値の高さを啓発するとともに、周辺地域の活性化に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	旧岡田倉庫活用民間運営協議会会員数	人	31	28	31	31
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
活動指標 2						
成果指標 1	事業等開催数	回	107	111	110	111
成果指標 2	利用者数	人	3,587	3,100	3,376	3,400
事業費 (A)		千円	1,010	1,010	1,010	14,520
正職員人件費 (B)		千円	2,329	767	770	3,861
総事業費 (A+B)		千円	3,339	1,777	1,780	18,381

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付 平成12年に取得した旧岡田倉庫用地購入費に係る土地開発基金買戻し分（平成30年度から34年度の5年間で償還） 	補助金 1,000千円 当市関係公有財産購入費 13,412千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	開発局札幌開発建設部による石狩川・千歳川の堤防整備計画に伴う平成28年度実施の用地測量の結果、旧岡田倉庫の土地が用地買収の対象となったことから、旧岡田倉庫の活用方法と移転先を検討する。 また、平成12年に取得した旧岡田倉庫用地購入費に係る土地開発基金買戻し分として、平成30年度から34年度の5年間にわたり償還費用が生じる。	減少	維持	増加	
維持		向上			
見直し		維持			○
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別駅前再開発事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
えべつみらいビルを中心とした江別駅周辺地区									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別駅前活性化の拠点施設である株S P Cみらいの業務棟（えべつみらいビル）、福祉棟の健全な事業遂行・経営安定を図るため、えべつみらいビルの3、4階フロアを20年間借上げ									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
コールセンター等をえべつみらいビルに誘致することで地区の昼間人口を増加し、地区の経済・社会を活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	えべつみらいビルテナント部分床面積	坪	1,299.78	1,299.78	1,299.78	1,299.78
対象指標2						
活動指標1	えべつみらいビル3、4階賃借料	千円	118,843	118,843	118,843	118,843
活動指標2	入居率（ビル全体）	%	45.9	51.2	100	100
成果指標1	江別駅周辺地区の新規開業数	件	13	14	11	11
成果指標2	江別駅乗降客数	人/日	7,929	7,677	7,929	7,677
事業費（A）		千円	118,889	118,889	118,889	120,355
正職員人件費（B）		千円	3,106	3,068	3,852	3,861
総事業費（A+B）		千円	121,995	121,957	122,741	124,216

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> えべつみらいビル3、4階の賃借 えべつみらいビル入居企業の紹介業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ビル3、4階賃借料 118,843千円 ビル入居企業の紹介業務委託料 1,466千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	企業誘致に直結する有益な情報入手し、えべつみらいビルの空室解消につなげるため、不動産業者に入居企業の紹介業務を委託する。			
維持		減少	維持	増加
見直し		向上		
新規		維持	○	
休止		低下		
廃止 その他				

事業名：食を軸とした地場産品販路拡大支援事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて商談会や催事への企業出展を促す。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
対象指標 2						
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	4	5	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	30	34	30	34
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,785	448	553	586
正職員人件費 (B)		千円	1,941	4,602	3,081	6,178
総事業費 (A+B)		千円	3,726	5,050	3,634	6,764

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングテスト販売（地下歩行空間ほか） 商談会（札幌、東京） 江別産品試食評価相談会開催（江別市民会館） 江別産品フェア（東京都区内） 	<ul style="list-style-type: none"> 商談会（北海道産品取引商談会、インフォメーションバザール） 298千円 江別産品試食評価相談会開催経費 111千円 江別産品フェア開催経費（道内、道外） 173千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）計画に取り組む組織・機関・団体等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 食の高付加価値化 食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等 海外市場の開拓 海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付及び海外催事出展等の海外市場開拓支援事業の実施 食のまちPR 首都圏企業等へのフード特区事業PR 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	89	88	89	88
対象指標 2						
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	6,227	7,172	7,600	9,000
活動指標 2	補助金額	千円	6,691	6,562	7,000	7,000
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	1	2	1	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	14,537	11,546	12,531	13,747
正職員人件費 (B)		千円	7,764	7,671	7,703	7,722
総事業費 (A+B)		千円	22,301	19,217	20,234	21,469

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出 機能性食品開発を支援する補助金を交付 海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金を交付 海外催事出展のほか外国人観光客向けの情報発信、海外向け商品の研究や国際認証取得等に向けたワークショップの開催 フード特区の取組を首都圏企業等にPR 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 2,834千円 機能性食品開発支援補助金 6,500千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 1,850千円 フード特区広報事業 1,600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	【海外市場開拓支援事業】 ・これまでの海外催事出展に加え、外国人観光客向けの情報発信、海外向け商品の研究や国際認証取得等に向けたワークショップを開催 【フード特区広報事業】 ・東京でのイベント開催だけではなく、年間を通して広く情報を発信	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により地域住民や学生など多様な主体がコミュニティビジネスなどの活動を商店街で始められるよう促す。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成するため、セミナー参加者を増やし参入の促進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民		119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	4	4	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	50	57	50	50
成果指標 2	参入相談件数	件	4	0	2	2
事業費 (A)		千円	337	293	500	300
正職員人件費 (B)		千円	1,553	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	1,890	2,594	2,811	2,617

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	コミュニティ活動啓発セミナーの開催（先進事例や実例紹介、補助金制度の紹介）	コミュニティ活動啓発セミナー開催に係る委託経費 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援					
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<p>市内大学の学生を対象に有給インターンシップ事業への登録学生を募り、登録した学生に対して、基礎・応用研修と企業へのインターンシップを実施する。インターンシップは、原則、1事業所、最長1年間を上限に実施し、インターンシップ中は、賃金相当額を受入企業が負担する。その他、拠点施設を設置することで、施設内で研修や、企業等と学生の交流会等を実施する。</p>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<p>①学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。 ②学生に市内企業を知ってもらう機会を増やすことにより、市内企業への就職意欲を高める。</p>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内大学の在籍学生数	人	9,991	9,722	9,991	9,991
対象指標2	市内事業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
活動指標1	有給インターンシップ新規登録者数	人	55	49	50	60
活動指標2	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	社	91	75	50	60
成果指標1	有給インターンシップ参加学生数	人	40	45	45	55
成果指標2						
事業費 (A)		千円	11,364	11,251	13,056	13,093
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	3,081	3,861
総事業費 (A+B)		千円	13,693	13,552	16,137	16,954

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・有給インターンシップ事業の運営 ・市内大学・高校の就職状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・有給インターンシップ事業の運営委託 13,079千円 ・市内大学・高校の就職状況調査経費 14千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：働きたい女性のための就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
就職を希望している女性									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①就職に有効な接遇やパソコン操作などの技能を習得するための研修を実施する。 ②企業実習により女性の就職や就職後の定着を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
働きたいと考える女性が就職もしくは再就職できるよう、課題を解決する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	37,369	36,808	36,756	34,645
対象指標 2	ハローワーク江別管内女性有効求職登録者数	人	0	1,081	1,081	1,081
活動指標 1	就職支援セミナー開催回数	回	5	8	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	就職支援セミナー来場者数	人	110	117	100	96
成果指標 2	就職者数	人	45	49	50	50
事業費 (A)		千円	25,045	21,813	21,048	18,574
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	3,081	3,861
総事業費 (A+B)		千円	27,374	24,114	24,129	22,435

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業（就職に向けた座学研修及び実務研修）の実施 ハローワーク共催セミナーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業（就職に向けた座学研修及び実務研修）の実施委託 18,441千円 ハローワーク共催セミナー実施に係る託児経費等 133千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：経済活動広報事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化		
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援		
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民及び市外在住者
手段（事務事業の内容、やり方）	市内の経済・産業・企業等を紹介する記事をフリーペーパーに掲載する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内の産業や企業等を紹介することで、江別の産業等の魅力に対する認識を広げる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2	市外在住者	人	0	0	0	0
活動指標 1	年間発行回数	回	6	9	8	1
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	6	9	12	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	900	900	4,230	3,348
正職員人件費 (B)		千円	1,553	2,301	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	2,453	3,201	8,082	7,209

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	フリーペーパーの作成及び配布	フリーペーパーの作成及び配布 3,348千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	平成30年度については、フリーペーパー「JPO1エリア江別市」の反響が大きいことから、企業紹介に関する情報等の周知媒体を「JPO1エリア江別市」に一本化して実施する。		減少	維持	増加
維持		向上			
見直し		維持	○		
新規		低下			
休止 廃止 その他					

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内高校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
高校生のインターンシップに対する支援（研修実施） 就職希望者に対する面接指導・研修 企業交流会の実施									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高校生に対し、適切な進路・職業を選択するための職業観の醸成、および進路や職業に就くための知識の習得を支援する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	4,135	4,116	4,135	4,135
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	146	181	146	181
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	271	272	180	272
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	11	13	10	13
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	91	93	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	95	86	100	100
事業費 (A)		千円	2,500	2,500	2,500	2,402
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	4,829	4,801	4,811	4,719

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 高校生インターンシップに対する事前研修の実施 就職希望者に対する面接指導・研修の実施 企業交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施委託 2,402千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌商店街									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	野幌商店街		1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	3,200	4,000	0
成果指標 1	相談件数	件	137	119	70	70
成果指標 2	誘致件数	件	0	1	1	0
事業費 (A)		千円	4,944	7,207	6,454	2,454
正職員人件費 (B)		千円	1,941	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	6,885	11,042	10,306	6,315

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設	・コーディネーター委託費 2,454千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：工業団地環境整備事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
工業団地	
手段（事務事業の内容、やり方）	
団地内道路改修	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
団地内企業が利用する際に、安全な走行を確保する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	工業団地（第一、第二工業団地、RTNパーク）の面積	h a	0	387.9	387.9	387.9
対象指標 2						
活動指標 1	工事費	千円	0	24,494	25,000	15,493
活動指標 2						
成果指標 1	工事延長	m	0	253.44	265	70
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	24,494	25,000	15,493
正職員人件費 (B)		千円	0	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	0	28,329	28,852	19,354

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	工業町9号道路改修工事 延長=70m	道路改修工事費等 15,493千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
改革方向性（成果）	向上			
	維持			
	低下	○		

事業名： 中小企業資金融資事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2		補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市内の中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内金融機関へ必要な資金を預託し、低利の融資制度を運用する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
中小企業者の経営の安定、経営基盤の強化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内の事業所数（非農林漁業）	所	0	0	3,426	3,426
対象指標 2						
活動指標 1	新規融資額	千円	0	0	299,025	333,230
活動指標 2	信用保証料補給金額	千円	0	0	11,434	9,000
成果指標 1	新規融資件数	件	0	0	112	115
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	1,168,758	1,208,995
正職員人件費 (B)		千円	0	0	6,162	7,722
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,174,920	1,216,717

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業振興資金融資 ・ 小規模企業安定資金融資 ・ 商工業近代化資金融資 ・ 中小企業信用保証料補給 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸付金 1,198,690千円 ・ 斡旋・診断手数料 1,305千円 ・ 信用保証料補給金 9,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつやきもの市イベント振興事業 商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
やきもの市実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「えべつやきもの市事業補助金交付要領」に基づき、総事業費のうち、事務局費を除いた宣伝費、会場費、事業費を対象に補助金を交付。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市のPR、芸術文化の振興及び地域経済の活性化に寄与するとともに、イベントとしての楽しさを創造し一定の来場者数を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	10	10	10	10
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,700	2,700	2,700	2,700
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	45,000	29,500	45,000	41,800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,700	2,700	2,700	2,700
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,918	1,541	1,931
総事業費 (A+B)		千円	4,253	4,618	4,241	4,631

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	えべつやきもの市実行委員会への補助金交付	えべつやきもの市イベント振興事業補助金 2,700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持			維持			
見直し			低下			
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：北海鳴子まつり事業補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
えべつ北海鳴子まつり実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「北海鳴子まつり事業補助金交付要領」に基づき、北海鳴子まつり実行委員会への補助金を交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民相互の交流、観光誘客による市内経済の活性化を図る									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	12	14	12	14
対象指標 2	出場チーム数	団体	47	48	45	48
活動指標 1	補助金額	千円	1,700	1,700	1,700	1,700
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	12,000	18,000	12,000	19,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,700	1,700	1,700	1,700
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	2,476	2,467	2,470	2,472

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	えべつ北海鳴子まつり実行委員会への補助金交付	北海鳴子まつり補助金 1,700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	低下			

事業名：江別市民まつり事業補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民まつり実行委員会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市民まつり事業補助金交付要領」に基づき、各市民まつり実行委員会に対する補助金の交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民相互の交流と、地域コミュニティを醸成する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民まつり実行委員会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,250	2,250	2,250	2,250
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	65,000	68,000	66,000	79,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,250	2,250	2,250	2,250
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,918	1,541	1,931
総事業費 (A+B)		千円	3,803	4,168	3,791	4,181

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市民まつり実行委員会への補助金交付	市民まつり補助金 2,250千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興					
			プログラム	② 観光資源のパッケージ化					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別観光協会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
観光パンフレットの発行やホームページなどによる観光情報の提供、ボランティアガイド等の事業により観光振興を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	189	205	196	213
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,784	2,643	2,940	2,672
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	9	8	8	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,784	2,643	2,940	2,672
正職員人件費 (B)		千円	3,882	1,534	4,622	1,544
総事業費 (A+B)		千円	5,666	4,177	7,562	4,216

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別観光協会事業への補助金交付 観光パンフレット「えべつコレクション」の作成や観光協会ホームページの運営、観光名刺の作成や市内外の各種イベント参加による特産品PR、ボランティアガイドによる見学会など	・観光宣伝物資製作費（パンフレット等） 1,785千円 ・えべつPR費（イベント、広告、ホームページ等） 746千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び観光客									
手段（事務事業の内容、やり方）									
歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市をはじめ、姉妹都市グresham市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	0	119,250	119,250	118,979
対象指標 2	観光入込客数	人	0	1,046,102	926,114	1,046,102
活動指標 1	営業日数	日	0	363	359	359
活動指標 2						
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	0	42,250	25,000	42,250
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	0	16,296	3,750	16,296
事業費 (A)		千円	0	8,224	8,650	8,577
正職員人件費 (B)		千円	0	1,918	3,081	3,861
総事業費 (A+B)		千円	0	10,142	11,731	12,438

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営 壁面黒板チョークアート 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営委託料：8,195千円 チョークアート制作委託料：150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
周辺市町村									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	181,600	174,638	180,000	174,638
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	239,800	434,444	430,000	434,444
事業費 (A)		千円	3,118	4,877	6,524	6,978
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,835	4,622	6,178
総事業費 (A+B)		千円	6,224	8,712	11,146	13,156

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） ・さっぽろ広域観光圏推進事業 ・ノハナショウブ保存活用事業 ・江別の魅力発信MAP作成事業 ・江別市リアル謎解きゲーム事業 ・地域おこし協力隊 ・ものづくりワークショップ事業（他事業より移管） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） 36千円 ・さっぽろ広域観光圏推進事業 500千円 ・ノハナショウブ保存活用事業 500千円 ・江別の魅力発信MAP作成事業 555千円 ・江別市リアル謎解きゲーム事業 1,800千円 ・地域おこし協力隊 2,792千円 ・ものづくりワークショップ事業 775千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：観光振興計画推進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市外の人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地方創生推進交付金を活用し、江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図ります。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	委託料	千円	0	6,891	13,950	15,950
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	0	3	3	3
成果指標 1	観光入込客数	人	0	1,046,102	926,114	1,046,102
成果指標 2	計画策定数	計画	0	0	1	0
事業費 (A)		千円	0	6,929	14,000	16,000
正職員人件費 (B)		千円	0	3,835	4,622	5,405
総事業費 (A+B)		千円	0	10,764	18,622	21,405

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	日帰り周遊型観光商品開発 観光人材育成セミナーの開催 観光振興計画の推進体制の検討	観光振興計画推進事業委託料 15,950千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	交流人口の増加や産業振興を目的とした観光振興計画を平成29年度に策定したため、基本施策の実現に向け、日帰り周遊型観光商品開発等の実施や推進体制の検討を行う。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：消費者保護育成事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・ 市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 江別消費者協会への消費生活相談業務委託 ・ 江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託 ・ 江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。 ・ 消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
被害の未然防止や被害後の救済の支援を行うことで、市民が安心・安定した消費生活を送ることができる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	0	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	年間相談開催日数	日	0	243	244	244
活動指標 2	消費啓発講座等開催回数	回	0	13	15	13
成果指標 1	消費生活相談受付件数	件	0	526	510	526
成果指標 2	消費啓発講座等参加者数	人	0	995	757	995
事業費 (A)		千円	0	7,682	7,567	7,196
正職員人件費 (B)		千円	0	5,753	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	0	13,435	11,419	11,057

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江別消費者協会への消費生活相談業務委託 ・ 江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託 ・ 江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。 ・ 消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費生活相談業務委託 4,116千円 ・ 消費生活コーディネーター業務委託 410千円 ・ 江別消費者協会補助金 2,282千円 ・ 消費活動啓発事業補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				